

在庫回転率

在庫回転率の定義

$$\text{在庫回転率 (1/年)} = \frac{\text{売上高 (円/年)} \times \text{出荷量 (個/年)}}{\text{平均在庫量 (個)} \times \text{たな卸資産 (円)}}$$

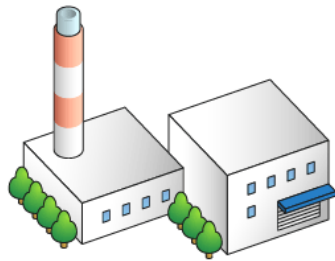
注意：経営分析では、金額で計算する。

*：厳密には、売上原価が望ましい。

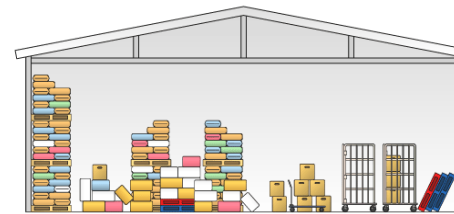
表現例

回転率は、“●● (1/年)” or “●● (回/年)”である。
年間の回転率は、“●●” or “●● (回)”である。

売上高・売上原価・たな卸資産



仕入れ



販売



商品の売値 = 仕入れ値 + 利益分
売上高 = 販売された商品の売値の合計
売上原価 = 販売された商品の仕入れ値の合計

在庫 → 将来売上に貢献する資産（たな卸資産）
たな卸資産 = 在庫として保管されている商品の仕入れ値の合計

在庫回転期間

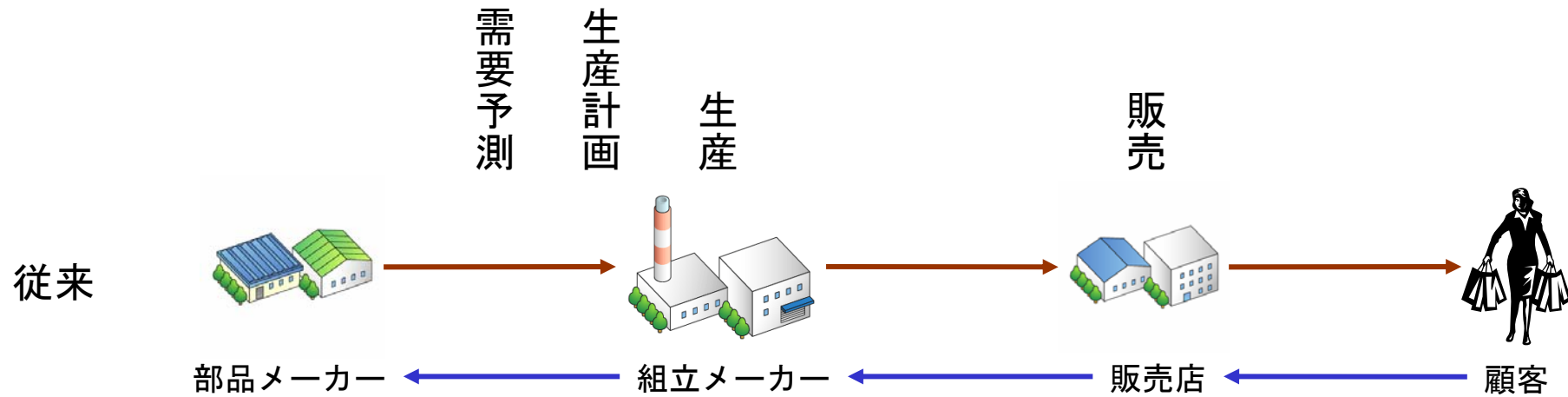
$$\begin{aligned}\text{在庫回転期間（年）} &= \frac{1}{\text{在庫回転率（1/年）}} \\ &= \frac{\text{平均在庫量（個）}}{\text{出荷量（個/年）}}\end{aligned}$$

商品回転率

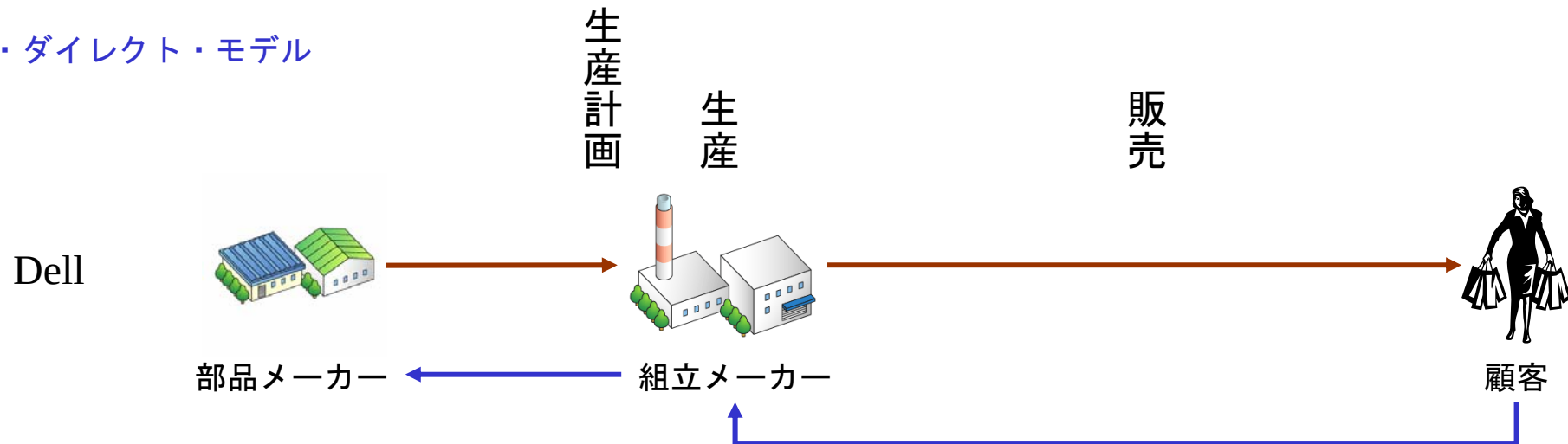
会社名	トヨタ	ソニー	イトーヨーカ堂	Tiffany & Co.	セブン-イレブン
会計年月日	2004年3月31日	2004年3月31日	2004年2月29日	2005年1月31日	2004年2月29日
単位	百万円	百万円	百万円	千ドル	百万円
売上高	16,578,033	6,883,478	3,161,317	2,204,831	148,045
売上原価	13,506,337	5,058,205	2,240,911	974,258	111,442
粗利益	3,071,696	1,825,273	920,406	1,230,573	36,603
たな卸資産	1,083,326	666,507	99,531	1,057,245	3,305
備考	製品のみ				製品のみ
粗利益率	18.5%	26.5%	29.1%	55.8%	24.7%
商品回転率(1/年)	12.5	7.6	22.5	0.9	33.7
商品回転期間(月)	1.0	1.6	0.5	13.0	0.4

$$\text{商品回転率} = \frac{\text{売上原価}}{\text{たな卸資産}}$$

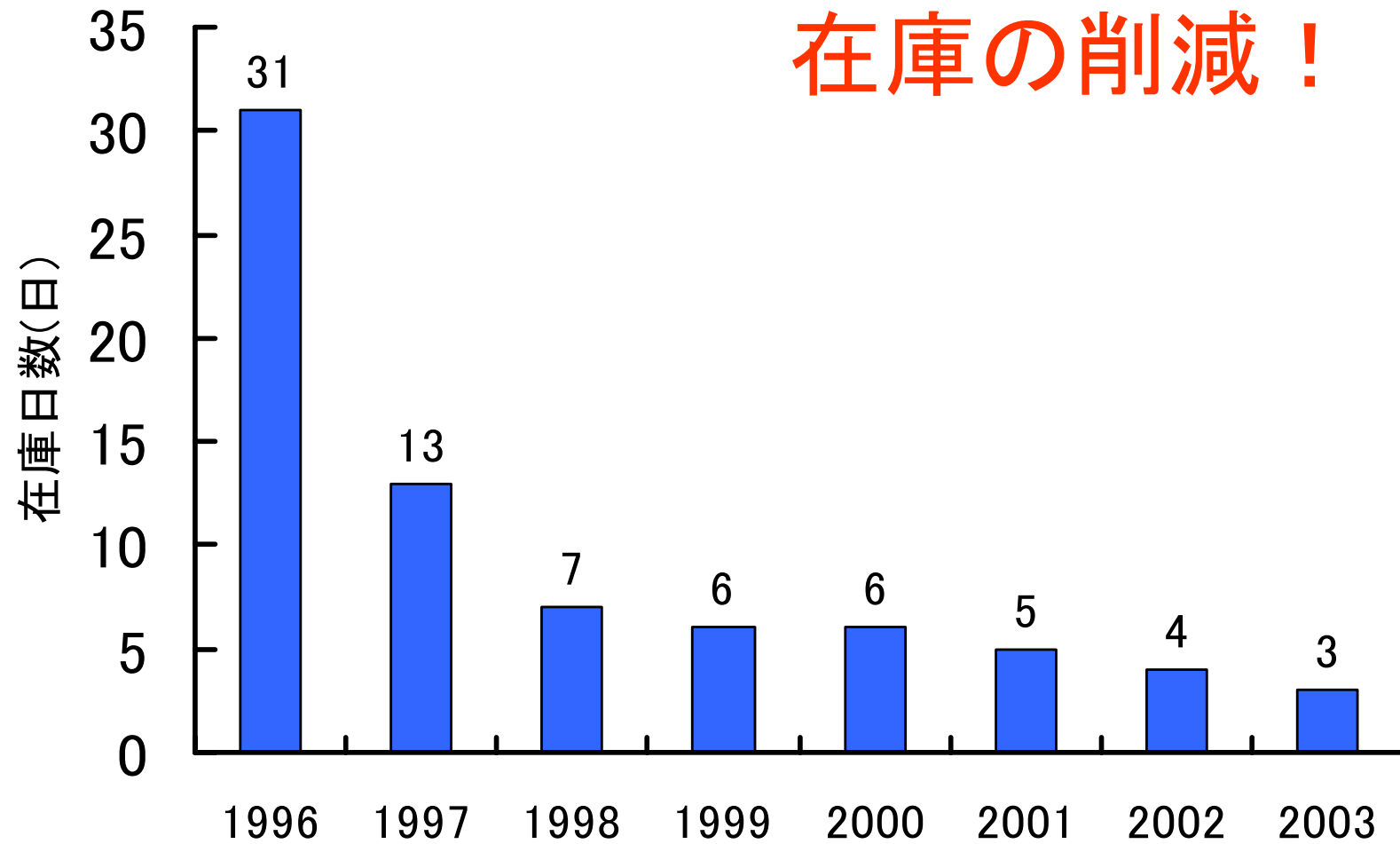
Dellの生産（直接販売・注文生産）



デル・ダイレクト・モデル



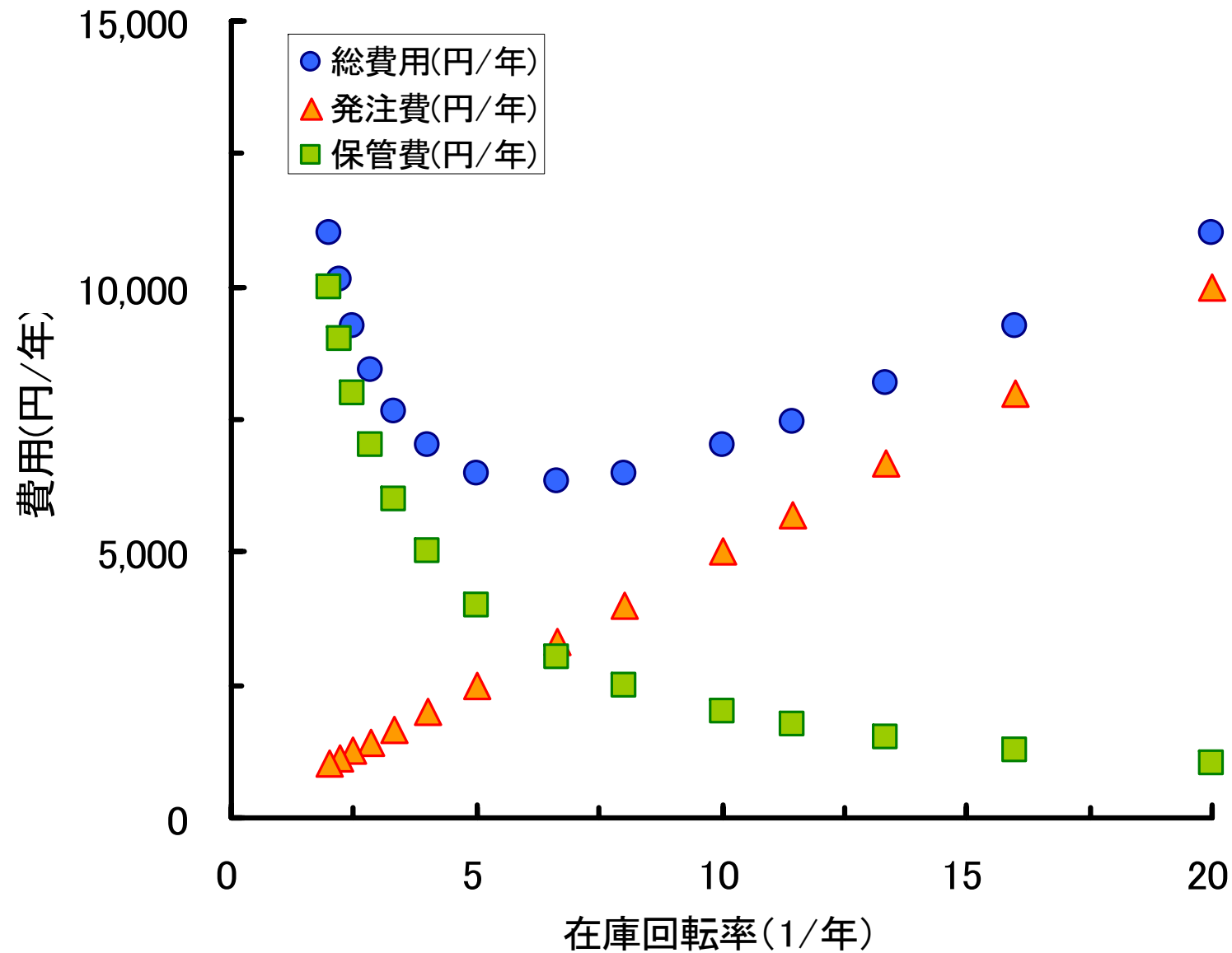
DeIIにおける在庫日数の推移



在庫回転率の見方

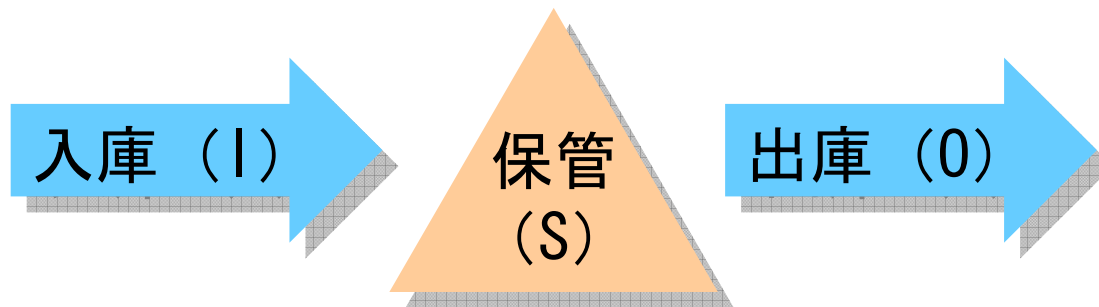
- ① 相対的な指標であるため、同種のアイテム間で比較する。
- ② 一般的に、在庫回転率が高いほど、過剰在庫がなく、在庫管理が“うまくいっている”と判断できる。
- ③ 在庫回転率を用いる場合の注意点としては、下記の事項がある。
 - ① 欠品率の確認
 - ② 適切な在庫回転率が存在する場合
 - ③ 平均在庫量の求め方

適切な在庫回転率の存在



計算上の注意事項

A：在庫量（保管量）とは？

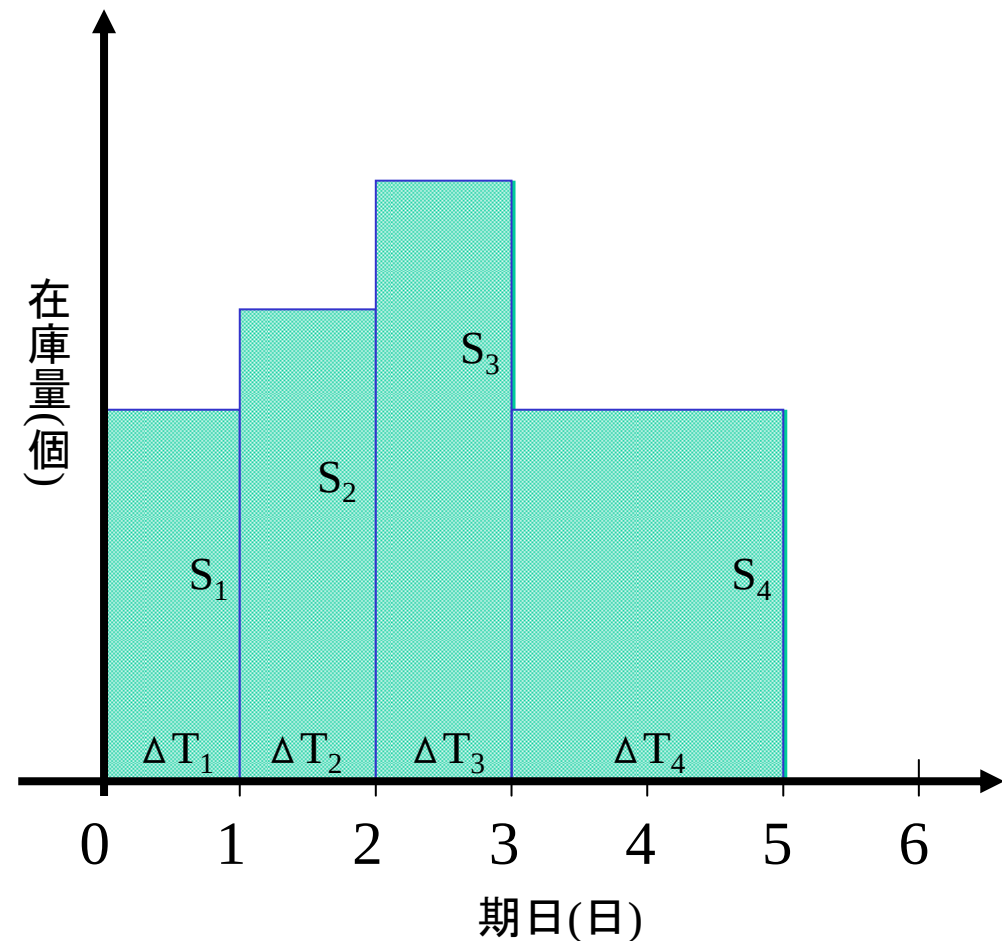


t期
$$S_t = S_{t-1} + I_t - O_t$$

① 期末在庫

② 入庫した商品は、当期の出庫に利用可能

B：平均在庫量の求め方



長方形や台形など色々な計算方法が考えられる。
したがって、計算式を統一しておく必要がある。 26

評価指標

$$\text{粗利益} = \text{売上高} - \text{売上原価}$$

$$\text{粗利益率} = \text{粗利益} \div \text{売上高}$$

$$\text{商品回転率} = \text{売上高} \div \text{たな卸資産}$$

$$\begin{aligned} \text{交差主義比率} &= \text{粗利益率} \times \text{商品回転率} \\ &= \text{粗利益} \div \text{たな卸資産} \end{aligned}$$

$$\text{利益貢献度} = \text{売上構成比} \times \text{交差主義比率}$$

商品回転率と粗利益率からみた管理ポイント

